

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	12	施策名	水辺とみどりの保全・創出				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために							
施策担当課	都市整備部みどり公園課					関係課	都市整備部建設課								
施策の概要	施策の対象	区民、民有地、民有施設、区有地、区立施設		目標	都市と自然環境が調和した健康で快適な生活環境を創出するため、区民、事業者、区のパートナーシップのもと、総合的な施策を通して水辺とみどりの保全・創出を図ります。										
	成果目標	水辺とみどりの保全・創出を図ることにより、区内に点在する公園、道路、河川、屋敷林、民有地などの多様なみどりと水を結びつけ、多様な生物の生息場所を確保し、区民がみどりの豊かさを実感できるまちを実現します。このため、みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合を70%に増やします。													
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	平成19年度のみどりの実態調査では、緑被率は21.84%まで回復してきましたが、宅地の細分化や相続などにより、後世に継承すべき屋敷林や農地等の減少は依然として進んでいます。これまでも国や都に対し、屋敷林の保全のための税の軽減をはじめとした要請を行ってきましたが、実現にはいたっていません。今後も、特別区全体で国や都に強く要請していきます。また、豊かな自然資源である水辺とみどりを大切にしたいという区民意識の高揚等を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを推進することが期待されています。														
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績		平成20年度計画		平成20年度実績		平成21年度計画		平成21年度実績		平成22年度計画		特記事項 水辺環境の整備については、都の河川改修計画の見直しを受け、大規模な護岸補修等を中止しているため事業費が減っています。みどりを守るの成果指標は、区政経営計画書にあわせて緑被率に変更しました。みどりを守るについては、保護樹木本数等の減少により執行率が低くなっています。	
	事業費 ①	240,309		302,804		232,758		216,132		179,694		195,896			
	(内)投資的経費等 ②	70,589		122,370		82,977		26,690		15,623		12,622			
	(内)委託費 ③	181,922		223,789		179,057		127,990		115,341		108,082			
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	14.25	0.00	15.15	0.00	16.63	1.00	17.10	1.00	15.75	0.00	15.10	0.00		
	人件費 ⑤	130,246		137,109		153,303		154,624		139,844		134,074			
	総事業費 (①+⑤) ⑥	370,555		439,913		386,061		370,756		319,538		329,970			
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		0		0		10,215		15,189		6,978			
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)					4.2		▲ 15.7		▲ 17.2		▲ 11.0			当該年度 総事業費 / 前年度 総事業費 %
	人件費比率	35.1		31.2		39.7		41.7		43.8		40.6			人件費 / 総事業費 (単位%)
施策分析Ⅱ 活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度						
	保護樹林面積					m ²	551,758	497,521	494,038						
	接道部緑化助成件数					件	34	35	34						
	みどりのボランティア登録数					人	168	25	43						
	みどりに関する講座					回数	8	6	6						

施策分析Ⅲ・成果指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	緑被率	概ね5年毎に実施するみどりの実態調査による	%	21.8	(19年度) 21.8	25.0	(19年度) 21.8	25.0	30
	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合	区民意向調査による	%	67.2	67.9	69.0	69.0	70.0	22

施策を構成の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	水辺環境の整備、みどりを育てる、みどりを創る、みどりを守る
	大きな成果を上げている事務事業	みどりを育てる、みどりを創る
	費用対効果の高い事務事業	みどりを守る
	見直すべき事務事業	みどりの基金
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	緑被率については、概ね5年ごとに行う杉並区みどりの実態調査の数値を使用していますが、前回調査(平成14年度)に比べ0.9%増加しています。また、みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合については、年々少しずつ高くなっています。
	21年度の取組状況	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業基本方針を策定するとともに、区民参加による水鳥の一斉調査の実施や事業周知のためのシンポジウムを開催しました。みどりの基本計画については改定案を策定し、みどりのベルトづくりは高円寺をモデル地区に指定し、商店会との協定締結に基づき5件の民有地緑化を行いました。生けがき道づくりについては、2地域をモデル指定し、90.9mの生けがきを整備しました。また、1,536件の緑化指導により、5,831mの接道部緑化と42,019㎡の緑化がされました。
	政策への貢献度	区民意向調査によるみどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合が、年々少しずつですが増えていることから、うるおいのある美しいまちをつくるために、水辺環境の整備やみどりを守る、創る、育てる等の水辺とみどりの保全・創出事業が果たす役割は大きいと考えます。

今後の施策の方向	○ 拡充 ● サービス増 ○ 現状維持 ○ 効率化 ○ 縮小 ○ 統廃合
----------	---

施策のあり方	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業は、今後、基本方針に基づく行動計画を策定し、区民とともに具体的な取組みを進めていきます。また、みどりの基本計画の改定に沿った施策を展開し、緑化地域制度の導入によるみどりの創出や屋敷林等保全の強化によるみどりの保全、さらには質の高いみどりの創出を区民とともに進めていきます。みどりの基金は、主な用途をみどりの保全にし、PRの充実、企業との協力体制及び寄付手続きの簡素化を進め活性化を図ります。
--------	--

(評価と課題) 二次評価	杉並区内を流れる3河川とその周辺は、区民にとって貴重な水辺であり、みどりの拠点となっています。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業を軸として、河川の流域に広がる豊かな自然の再生・創出に区民とともに、いかに効果的に取り組むかが課題です。また、屋敷林や農地などの減少傾向にある民有のみどりの保全・創出も重要な課題です。改定するみどりの基本計画により、可能な限りの対策を講じ、みどりの保全・創出を図るため、みどりの基金の活性化等、みどりの保全・創出に必要な財源確保の工夫を行っていきます。
--------------	--

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 12 】 【施策名： 水辺とみどりの保全・創出 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤含)	総事業費	(財源) 国・都からの補助金等	相対性			
		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤	重点				成果	効果	見直	
1	420 水辺環境の整備	10,045	9,533	9,538	2.46	0.00	21,842	31,887	0	○			
2	439 みどりを育てる	15,883	0	10,048	4.42	0.00	39,245	55,128	9	○	○		
3	440 みどりを創る	95,310	6,090	79,940	5.11	0.00	45,372	140,682	15,180	○	○		
4	441 みどりを守る	52,106	0	15,814	3.41	0.00	30,277	82,383	0	○		○	
5	442 みどりの基金	6,350	0	0	0.35	0.00	3,108	9,458	0				○
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		179,694	15,623	115,341	15.75	0.00	139,844	319,538	15,189				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	13	施策名	公園づくり				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために				
施策担当課	都市整備部みどり公園課					関係課						
施策の概要	対象	区立公園・予定地・遊び場・公衆便所公園利用者・地域の団体	目標	現状のみどりを守るだけでなく、公園・緑地等の整備を進め、区民のニーズにあった多様なオープンスペースを創り、みどりの総量増を目指します。また、既存公園・緑地等が持つ機能の維持や特色ある公園として再整備することにより、利用者の安全・安心で快適な利用を確保し、地域に密着した魅力ある公園づくりを目指します。								
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備では、国・都からの補助金を活用し公園等用地の確保に努め、公園の計画段階から区民との協働による公園づくりを行います。平成22年度末には防災公園として(仮称)桃井中央公園(面積約4.0ha)の開園、また、(仮称)和田一丁目公園・(仮称)高円寺北一丁目公園の設計、23年度までには造成工事を予定していますので、区民一人あたりの公園面積の増が見込まれます。 公園の維持管理については、区民との協働による公園管理体制を拡充し、公園ボランティア団体等の連携、育成を推進していきます(平成21年度157団体)。 										
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 既存公園の老朽化と区民の質の高い維持管理の要望で、年々経費の増が必要です。また、安全性を高めるためにも、計画的な維持管理を図り、より安全・安心して快適に利用できる公園管理が求められています。さらに、災害時に避難場所として防災機能を有した防災公園の建設が計画されています。 生活習慣の多様化により、公園の夜間利用による騒音等への苦情が増加しており、夜間の利用指導、防犯等への要望が多くなっています。一方で日中の公園における子供の声に対する要望も増え始めています。 											
施策分析Ⅰ・施策コスト(単位千円)	区分	平成19年度実績	平成20年度		平成21年度		平成22年度		特記事項			
			計画	実績	計画	実績	計画					
	事業費 ①	3,090,211	4,459,217	3,936,376	4,585,118	4,467,377	2,565,449					
	(内)投資的経費等 ②	2,354,862	3,666,422	3,166,811	3,874,271	3,780,078	1,873,357					
	(内)委託費 ③	671,854	715,770	694,929	806,660	729,906	650,037					
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	56.65 49.67	50.90 49.49	50.06 49.71	44.20 53.32	45.24 48.24	42.50 53.32					
	人件費 ⑤	655,367	599,217	592,233	541,374	536,420	526,281					
	総事業費 (①+⑤) ⑥	3,745,578	5,058,434	4,528,609	5,126,492	5,003,797	3,091,730					
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	664,884	1,082,560	899,151	1,066,095	1,000,010	465,488					
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			20.9	1.3	10.5	▲ 39.7	当該年度総事業費 / 前年度総事業費 %				
人件費比率	17.5	11.8	13.1	10.6	10.7	17.0	人件費 / 総事業費(単位%)					
施策分析Ⅱ 活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	区立公園・緑地数				園	303	303	309				
	区立公園・緑地面積				m ²	533,289	533,540	540,433				
	区民一人あたりの区立公園面積	公園・緑地等面積 / 人口			m ²	0.99	0.99	1.00				
	花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組参加団体				団体	138	145	157				

施策成果分析Ⅲ	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	区民一人あたりの都区立公園面積	公園・緑地等面積／人口	m ²	1.84	1.85	1.89	1.89	1.96	22
	公園等自主管理個所数の割合	自主管理個所数／公園等の数	%	45.5	48.0	50.0	50.8	51.8	22

施策を構成の状況	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組、(仮称)桃井中央公園の整備、身近な公園整備、公園改修、特色ある公園づくり
		大きな成果を上げている事務事業	公園管理 日常の職員による巡回、点検による公園の安全管理、施設の小補修の実施。
		費用対効果の高い事務事業	花咲かせ隊の活動
		見直すべき事務事業	遊び場対策
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に松溪橋公園(約1,160m²)、宮前新田緑地(約480m²)、平成22年4月に三井の森公園(約17,350m²)などの提供公園が開園するなど、着実に公園緑地面積を増加させています。 花咲かせ隊(区民等による公園などの花壇管理団体)、すぎなみ公園育て組(区民等による公園などの自主管理団体)が着実に増加しており、区民との協働による公園管理体制が進んできています。
	21年度の取組状況	坂の上のけやき公園(855.28m ²)の整備を行い、開園しました。また、成田西いこい緑地(約1,500m ²)、角川庭園(約1,370m ²)などを供用開始しました。 (仮称)桃井中央公園の整備については、平成21年度に8,000m ² の用地を取得し一期工事を行いました。平成22年度に二期工事を行い平成23年4月開園予定です。 区民等との協働による公園管理運営体制は、花咲かせ隊120団体、すぎなみ公園育て組37団体と着実に増加しています。
	政策への貢献度	「公園維持管理指針」に基づき計画的な維持管理を行い、今あるみどりを守り育てると共に、新たな公園・緑地の確保に努め、緑とオープンスペースの拡充を図ることにより、うるおいのある美しいまちづくりに貢献しています。

今後の施策の方向	○ 拡充 ● サービス増 ○ 現状維持 ○ 効率化 ○ 縮小 ○ 統廃合
施策のあり方	公園・緑地等の整備は、国・都からの補助金を活用して用地の確保に努めると共に、既存の公園については特色のある公園に再整備し、地域に密着した魅力ある公園づくりを行っていきます。また、維持管理については、区民等との協働による公園維持管理体制を推進していきます。

二次評価 (評価と課題・方向性)	公園が安全で快適な憩いの場となるように、日常の維持管理を着実にやっていることや、平成21年度新たに2公園・2緑地・1庭園を開園し、公園面積を増加させたこと、公園等の自主管理団体等の増加に向け取り組んできたことは評価できます。また、平成22年度には三井の森公園が開園し、(仮称)桃井中央公園の整備も鋭意進めていきますが、一人当たり公園面積5m ² を達成するには相当の期間を要することが課題となっています。今後とも区民との協働により、誰もが憩える安全な公園づくりと維持管理を進めていきます。
---------------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 13 】 【施策名： 公園づくり 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤	重点				成果	効果	見直	
1	400 公園緑地事務所等の管理運営	55,008	0	29,421	1.40	6.42	30,362	85,370	0	○			
2	433 公園の維持管理	583,558	60,780	502,345	30.70	40.82	386,595	970,153	0	○			
3	434 公園事業	58,185	0	47,224	3.31	1.00	32,182	90,367	2,000	○	○		
4	435 遊び場の維持管理	34,339	0	32,267	3.75	0.00	33,296	67,635	0				○
5	436 地域公園の整備	1,506,563	1,506,563	0	0.82	0.00	7,281	1,513,844	417,010	○			
6	437 身近な公園の整備	2,170,262	2,170,262	64,262	1.69	0.00	15,006	2,185,268	581,000	○			
7	438 公園の改修	42,473	42,473	41,837	1.84	0.00	16,337	58,810	0	○			
8	443 公衆便所の維持管理	16,990	0	12,549	1.73	0.00	15,361	32,351	0	○			
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		4,467,377	3,780,078	729,906	45.24	48.24	536,420	5,003,797	1,000,010				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	14	施策名	まちの景観づくり				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために						
施策担当課	都市整備部まちづくり推進課					関係課	都市整備部土木管理課							
施策の概要	対象	区民、事業者、公共団体、公共施設	目標	区民・事業者・区の協働による景観まちづくりの展開や景観に配慮した魅力ある公共施設づくりにより、美しくうるおいのあるまちなみ形成の実現を目指します。										
	成果目標	区民意向調査における生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)の向上を目標とします。												
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<p>都市化が進み、開発行為で屋敷林をはじめとする貴重なみどりが伐採されたり、歴史ある建物が取り壊されたりすることにより、まち景色が一変してしまうことが多々あります。見慣れた杉並らしい景観が失われ、その後、派手な色彩の建物や高層マンションの出現などを目の当たりにして、魅力的なまちなみづくりや景観について考えるべきとの要望も増えてきました。</p> <p>区は、景観行政団体として、平成21年度に杉並区景観計画を策定し、平成22年6月からその運用を始めます。景観条例や景観法を活用することにより、これまで以上に景観施策に取り組んでまいります。景観法の施行後、区民等のまちなみや景観に対する意識も、徐々に高まっており、屋外広告物についても景観を損ねるとごつい色彩の広告物や違反広告物などの取締りを求める要望が増加しています。</p>													
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績		平成20年度		平成21年度		平成22年度		特記事項				
				計画	実績	計画	実績	計画						
	事業費 ①	5,943		75,705	74,062	10,064	8,176	5,951						
	(内)投資的経費等 ②	0		60,239	59,434	0	0	0						
	(内)委託費 ③	3,886		72,524	71,504	1,328	1,157	1,962						
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	4.00	0.00	5.52	0.00	5.56	0.00	5.50	0.90		5.80	0.90	5.40	1.00
	人件費 ⑤	36,560		49,956	50,318	51,348	54,012	50,739						
	総事業費 (①+⑤) ⑥	42,503		125,661	124,380	61,412	62,188	56,690						
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		0	0	0	0	0						
総事業費伸び率 (計画比・実績比)					192.6	▲ 51.1	▲ 50.0	▲ 7.7		当該年度 総事業費	前年度 総事業費	%		
人件費比率	86.0		39.8	40.5	83.6	86.9	89.5		人件費/総事業費(単位%)					
施策分析Ⅱ・活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度					
	景観新聞の発行部数					部	8,000	8,000	8,000					
	景観週間の参加者数					人	1,413	1,810	1,490					
	屋外広告物許可申請数					件	346	309	331					
	違反広告物の除去件数					件	29,313	24,445	29,047					

施策分析指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	杉並区のまちを美しいと思う人の割合	区民意向調査による	%	73.8	73.2	-	74.9	80.0	25
	違反広告物の除去件数前年度比率		%	131.0	83.4	-	118.8	-	-

施策分析指標	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	景観まちづくり
		大きな成果を上げている事務事業	
		費用対効果の高い事務事業	屋外広告物許可・取締
		見直すべき事務事業	
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	杉並区のまちを美しいと思う人の割合は、近年、ほぼ4人に3人となっています。違反広告物の除去件数は、取締りの強化とボランティア活動の効果により、着実に増加しています。
	21年度の取組状況	まちの景観は長い年月を経て創出されるものであり、日々の積み重ねが重要ですので、優れたまちなみ景観をつくる施策を展開していきます。平成21年度は景観行政団体となり、景観法に基づく届出による指導を開始するとともに区独自に杉並区景観計画を策定しました。
	政策への貢献度	継続して景観施策を実施することで、区民の景観に対する意識が向上し、区民自らが主体的にうるおいのある美しいまちをつくりあげる風土を醸成します。都市景観の構成要素として、特に駅前などでは屋外広告物は大変重要で、色彩、規模、設置場所等がそのまちのイメージ、雰囲気を決定的につけます。周囲のまちなみと調和したものとなるよう規制を行うとともに、違反広告物の除去を進めていくことが、魅力ある景観づくりに貢献します。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施策のあり方	1 景観条例に基づく事前協議を平成22年5月に、杉並区景観計画の運用を平成22年6月から始めます。 2 角川庭園は21年5月に開園し、詩歌館として多くの区民にご利用いただくとともに、景観重要建造物への指定を目指します。 3 屋外広告物の表示の制限については、景観計画にも盛り込んでおり、広告主の意識を高めるとともに、区民との協働で良好な景観づくりを進めます。また、置き看板などの路上違反広告物の除却に向けた検討を継続します。
--------	--

（評価と課題） 方向性 二次評価	景観条例に基づき、美しいまちづくりを進めるために必要な景観計画が策定され、景観形成基準に基づいた指導ができるようになったことや、成果指標では屋外広告物の除却件数が、平成20年度より18.8%増加したことは、成果として評価します。指標の街並みの美しさや落ち着き74.9%を80%に引き上げるうえで、平成22年度から実施される事前協議による建築等への助言による実効性の確保が今後の課題です。そのため杉並らしい景観づくりを、区民・事業者への周知と事前協議に力を入れていくという方向性で進めます。
------------------------	--

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 14 】 【施策名： まちの景観づくり 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点				成 果	効 果	見 直	
1	370 景観まちづくり	7,506	0	1,089	4.20	0.90	39,806	47,312	0	○			
2	391 屋外広告物許可・取締	670	0	68	1.60	0.00	14,206	14,876	0		○		
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		8,176	0	1,157	5.80	0.90	54,012	62,188	0				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	15	施策名	生活環境の整備				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために						
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課								
施策の概要	対象	区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者、区内の公共の場及び公共施設等、土地・建物の所有者及び管理者	目標	歩きたばこや吸い殻・空き缶などの投げ捨て、管理不良の空き地・空き家をなくすとともに、カラス・蜂などの駆除相談にも迅速に対応し、区民にとって安全で快適な生活環境を整え、美しく清潔なまちをつくります。										
	成果目標	杉並区生活安全及び環境美化に関する条例(安全美化条例)に基づき路上禁煙地区での過料徴収、区内全域での指導・啓発を徹底することにより、路上禁煙地区内での喫煙及び区内全域における歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを根絶します。 また、クリーン大作戦をはじめ、地域の美化活動を推進していくことで、区民とともに環境先進都市杉並を創ります。												
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	安全美化条例の施行後、路上喫煙防止指導の徹底、過料徴収及び駅頭キャンペーンなどの啓発事業を粘り強く行った結果、歩きたばこや吸い殻のポイ捨ては、条例施行前と比べ激減しました。しかし、受動喫煙防止対策に関する厚生労働省の通知が出されたこともあり、喫煙を取り巻く環境は一層厳しく、たばこに関する要望や問合せは毎日多く寄せられています。 また、クリーン大作戦は、22年度で11年目を迎えますが、毎年約1万人近くの参加者があり、身近な環境美化活動として、地域に定着しつつあります。 さらに、カラス対策については平成13年度からの東京都による捕獲作戦が功を奏し、ピーク時と比較し、生息数が半減しています。しかし、繁殖期を中心に、区民からの相談は絶えず、引き続き巢の撤去や餌となるごみの排出指導など、迅速に対応してまいります。													
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績		平成20年度		平成21年度		平成22年度		特記事項				
				計画	実績	計画	実績	計画						
	事業費 ①	43,557		61,753	45,193	60,542	51,432	38,683						
	(内)投資的経費等 ②	0		0	0	0	0	0						
	(内)委託費 ③	36,109		49,182	35,564	44,211	35,687	29,437						
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	5.15	1.30	5.15	2.00	5.18	2.00	4.15	2.00		4.49	8.00	4.49	8.00
	人件費 ⑤	50,672		52,208	52,479	42,435	62,211	62,211						
	総事業費 (①+⑤) ⑥	94,229		113,961	97,672	102,977	113,643	100,894						
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		0	0	0	0	0						
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	/		/		3.7	▲ 9.6	16.4	▲ 2.0		当該年度 総事業費	前年度 総事業費	%	
人件費比率	53.8		45.8	53.7	41.2	54.7	61.7		人件費/総事業費(単位%)					
施策分析Ⅱ 活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度					
	クリーン大作戦参加団体数					団体	161	157	151					
	路上喫煙防止指導件数					件	-	-	3,821					
	カラスの駆除相談に伴う出動件数					件	295	283	268					

施策 成果 分析 Ⅲ	指標名	算式または 指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度 目標	平成21年度 実績	目標値	目標 年度
	クリーン大作戦の参加人数		人	10,450	8,841	9,500	9,755	12,000	25
	ポイ捨てされた吸殻数	中杉通りと高南通りの調査1回平均	本	316	200	190	183	50	25
	カラスの巣の撤去・落下ヒナの捕獲件数		件	187	205	200	164	200	22

施策 事務 事業 の 状 況	相 対 性	重点事業に位置付けられる事務事業	安全美化条例に基づく生活環境の改善
		大きな成果を上げている事務事業	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談
		費用対効果の高い事務事業	
		見直すべき事務事業	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談
新規事業			

施策 の 総 合 評 価	指標の変化	過去3か年の指標値の増減はあるものの吸い殻のポイ捨て数は条例施行前に比べると各路上禁煙地区で8～9割減少しています。 またクリーン大作戦の参加者については年々減少傾向にありましたが21年度は微増に転じ、参加者からは、区からの支給品の充実を図る積極的な意見等がある一方、参加手続きの簡素化や独自で活動を望む意見も寄せられています。
	21年度の取組状況	21年度の上半期は、10月より開始する過料徴収業務の周知活動として路上禁煙地区を中心に毎日パトロールをするとともに、駅頭キャンペーン・路上禁煙地区マップも全戸配布しました。10月以降は過料徴収に加え、区内全域パトロールを強化・徹底しました。この結果、吸い殻のポイ捨ては、条例施行前と比較し激減していますが、違反行為の根絶までには至っておりません。 また、区民との協働によるクリーン大作戦では、参加団体は前年と比べ微減でしたが、延べ人数は前年比で10%の増となり、地域に根ざした運動となってきました。
	政策への貢献度	クリーン大作戦を地域の美化活動として根付かせるとともに、安全美化条例施行後、ポイ捨てによる吸い殻が激減するなどの効果が出ており、政策の目標に大きく貢献していますが、路上喫煙に関する要望が絶えることはないため、さらに路上喫煙防止指導の強化、啓発活動を推進します。また、昨年10月から実施した過料徴収、区内全域パトロールを充実させることで、環境先進都市にふさわしい美しく安全で健康なまちづくりの実現に貢献します。

今後の施策の方向	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施策のあり方	<p>クリーン大作戦をはじめ地域の美化活動については、定着度を考慮し、徐々に区民の自発的な活動に委ねていきます。</p> <p>喫煙マナーに係わる条例周知については、今後、転入者や区内在勤者、一時的滞在者などを対象に、転入届時に路上禁煙地区マップの配布徹底や駅前横断幕をより目立つような工夫をするなど地道な啓発活動を継続・実施していきます。</p>
--------	--

（評価と課題・方向性） 二次評価	<p>路上禁煙地区での過料徴収や区内全域でのパトロールを強化したことで、以前に比べ歩きたばこや吸い殻のポイ捨ては激減しましたが、路上禁煙地区周辺でのポイ捨て行為への対応、指導時間帯の工夫等、検討を要する課題があります。</p> <p>また、クリーン大作戦では、多くの区民の参加とともに、駅前や公園清掃などを目的としたボランティア活動の活発化など、安全美化条例制定後、環境に対する区民の意識や活動は着実に高まっています。区では今後とも区民の主体的な活動を支援し、区民の日常における自発的な活動に繋がるよう努めていきます。</p>
---------------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 15 】 【施策名： 生活環境の整備 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤	重点				成果	効果	見直	
1	450 安全美化条例に基づく生活環境の改善	46,178	0	32,177	2.19	6.30	37,041	83,219	0	○			
2	452 カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談	5,254	0	3,510	2.30	1.70	25,170	30,424	0	○		○	
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		51,432	0	35,687	4.49	8.00	62,211	113,643	0				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	16	施策名	環境施策の枠組みづくり				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために			
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課					
施策の概要	対象	区民、区内事業者、区内公共公益事業体、行政機関	目標	区民・事業者・行政が協働で環境施策を計画的に実行することで、環境先進都市 杉並を築いていきます。							
	成果目標	脱石油社会の実現を目標とする新たな環境基本計画では、太陽光発電の普及、ごみ排出量の削減、緑被率の増加、マイバッグ等の持参率向上などの取組みを積極的に進めていくとともに、計画の内容をわかりやすくまとめたパンフレット(概要版)を作成するなど、周知活動にも力を入れていきます。									
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	政府による国際公約としての温室効果ガス排出量削減目標(2020年までに1990年比で25%削減)をはじめ、省エネ法や東京都環境確保条例により、事業者などに対して、温室効果ガスの総量削減や省エネ化が義務化されるなど、地球温暖化対策の強化が図られています。										
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績	平成20年度		平成21年度		平成22年度		特記事項		
			計画	実績	計画	実績	計画				
	事業費 ①	5,539	17,971	13,631	10,564	5,030	9,474				
	(内)投資的経費等 ②	0	0	0	0	0	0				
	(内)委託費 ③	147	9,479	8,829	1,240	668	1,036				
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	4.06 0.00	3.00 1.00	3.09 1.00	3.00 1.00	3.10 1.00	2.00 1.00				
	人件費 ⑤	37,108	29,950	30,765	29,432	30,319	29,432				
	総事業費 (①+⑤) ⑥	42,647	47,921	44,396	39,996	35,349	38,906				
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0	0	0	0	0	0				
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			4.1	▲ 16.5	▲ 20.4	▲ 2.7	当該年度 総事業費 / 前年度 総事業費 %			
人件費比率	87.0	62.5	69.3	73.6	85.8	75.6	人件費 / 総事業費 (単位%)				
施策分析Ⅱ 活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	環境清掃審議会の開催回数				回	9	13	8			

施策 成果 分析 Ⅲ	指標名	算式または 指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度 目標	平成21年度 実績	目標値	目標 年度
	環境基本計画の目 標達成率		%	93.5	89.1	100.0	98.2	100.0	22

施策 事務 事業 の 状 況	相 対 性	重点事業に 位置付けられ る事務事業	環境保全の普及啓発
		大きな成果を 上げている事 務事業	環境清掃部一般管理、環境清掃審議会の運営
		費用対効果の 高い事務事業	
		見直すべき 事務事業	
	新規事業		

施 策 の 総 合 評 価	指 標 の 変 化	この施策の成果にふさわしい指標を模索した結果、成果指標については、今年度より「環境清掃審議会委員出席率」「環境白書配布部数」から「環境基本計画の目標達成率」へと変更し、計画の実効性を高めていきます。
	2 1 年 度 の 取 組 状 況	環境基本計画の改定に際しては、環境清掃審議会からの意見や指摘とともに、政権交代による国の動向なども考慮した上で、素案を作成し、審議会及び区議会への説明を経て、区民意見を聴取しました。
	政 策 へ の 貢 献 度	環境基本計画の改定を通じ、「脱石油社会」の実現に向けた取組みを進める中で、「環境先進都市 杉並」を実現していきます。「環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくる」とした上位政策の柱になる施策です。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施 策 の あ り 方	環境基本計画は、環境分野の基本的方向と理念を掲げたものであり、今後、時代の変化や技術革新などの動向を踏まえ、区民、事業者との協働を推進し、「環境先進都市 杉並」の実現をめざしていきます。
----------------------------	---

（ 二 次 評 価 ） 方 向 性 ・ 課 題	環境基本計画については、今後、広く区民に周知し、協力を求めるとともに、計画の実効性を高めていくことが課題です。このため、パンフレット(概要版)等を活用し、区民・事業所に対して普及啓発を行うとともに、年に1回、各事務事業の進捗状況や効果を検証します。結果については、環境清掃審議会及び区議会に報告するとともに、広報、ホームページで公表し、区民意見を計画の見直しに反映させていきます。
--	--

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 16 】 【施策名： 環境施策の枠組みづくり 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点				成 果	効 果	見 直	
1	444 環境清掃部一般管理	2,569	0	146	1.60	0.50	15,603	18,172	0	○			
2	445 環境清掃審議会の運営	1,911	0	507	0.50	0.50	5,837	7,748	0	○			
3	449 環境保全の普及啓発	550	0	14	1.00	0.00	8,879	9,429	0	○			
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		5,030	0	668	3.10	1.00	30,319	35,349	0				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	17	施策名	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために			
施策担当課	環境清掃部清掃管理課					関係課	杉並清掃事務所				
施策の概要	対象	区民・事業者・産業団体	目標	区民生活や事業活動に伴う環境負荷の軽減を図り、ごみの発生抑制、資源の再使用・リサイクル・適正処理などについて、区民・事業者・行政が連携して実施していきます。また、環境施策の象徴の一つであるレジ袋削減目標・マイバッグ持参率60%を達成します。							
	成果目標	平成21年度は、区全体のごみ量は前年度比で小幅(約1.6%)減少しました。一方資源回収量は2%増加しました。今後も更なるごみの減量に向けて、ペットボトルとプラスチック製容器包装の回収量を増やすなど、リサイクル率の向上を図ります。									
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場の延命(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の利用期限が50年程度と見込まれている) ・循環型社会実現の社会的要請と関連法案の整備の進展 ・分別・リサイクル率の向上と不燃ごみの減量の具体化計画であるごみ半減プランの実践 ・廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施(20年4月) ・ごみを限りなくゼロを目指す杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定(20年3月) ・杉並中継所の廃止(21年3月) ・レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例制定(20年4月) 										
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績	平成20年度		平成21年度		平成22年度		特記事項		
			計画	実績	計画	実績	計画				
	事業費 ①	1,288,248	2,367,928	2,250,287	2,311,320	2,208,095	2,239,574				
	(内)投資的経費等 ②	0	0	0	0	0	0				
	(内)委託費 ③	1,053,728	2,180,990	2,088,638	2,172,753	2,090,194	2,113,409				
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	29.77 0.00	32.40 0.50	35.64 0.50	33.88 3.00	39.29 3.20	35.44 4.20				
	人件費 ⑤	272,097	294,620	323,943	309,201	357,795	326,404				
	総事業費 (①+⑤) ⑥	1,560,345	2,662,548	2,574,230	2,620,521	2,565,890	2,565,978				
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	25,595	0	23,738							
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			65.0	▲ 1.6	▲ 0.3	▲ 2.1			当該年度総事業費 / 前年度総事業費 %	
人件費比率	17.4	11.1	12.6	11.8	13.9	12.7		人件費 / 総事業費(単位%)			
施策活動分析Ⅱ 指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	資源回収量	区回収+集団回収			t	33,860	38,863	39,588			
	ペットボトル回収量				t	783	1,823	1,872			
	プラスチック製容器包装収集量				t	1,409	4,819	4,573			
	有料化の割合	区内スーパーにおけるレジ袋有料化店舗の割合			%	21	58				

施策成果分析Ⅲ	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	一人一日あたりの排出ごみ(家庭系)		g	618	565	484	554	430	22
	リサイクル率	資源回収量/区関与排出物量	%	21.9	25.9	35.0	26.6	45	22
	マイバッグ等持参率	条例対象事業所におけるマイバッグ持参率	%	22.0	32.0	60.0	33.3	60	22

施策を構成の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	○レジ袋有料化推進
	大きな成果を上げている事務事業	○ごみ減量運動 ○資源の回収 ○リサイクル活動の支援 ○レジ袋有料化推進
	費用対効果の高い事務事業	
	見直すべき事務事業	
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	平成20年度からのペットボトルとプラスチック製容器の区内全域での収集に伴い、資源回収量及びリサイクル率とも大幅に上昇しました。21年度は特に収集方法の変更がなかったため、一人あたりの排出ごみ量は微減となりましたが、今後もあらゆる機会を利用して区民に対しごみの減量化の普及啓発に努めていきます。
	21年度の取組状況	ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進などにより減少してきています。平成20年度からサーマルリサイクルの実施にあわせ、プラスチック製容器包装やペットボトルを「資源」として収集したことが、家庭ごみの減量に大きく寄与しました。今後、区民サービスの一層の向上を図るため、財政状況も考慮しつつ戸別収集などの具体化について、引き続き、検討を進めます。 また、マイバッグキャンペーンやコンビニエンスストアにレジ袋不要カードを置くなど、レジ袋の削減に取り組みました。
	政策への貢献度	マイバッグの推進運動や不燃ごみの大半を占めるプラスチックごみを資源物として集積所での回収を行うことは、ごみの減量化に大きく寄与します。さらに、プラスチックの資源化等の推進に伴い、循環型社会の象徴であるリサイクルの推進に大きな役割を果たしました。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施策のあり方	ごみを限りなくゼロにする社会の構築には、リサイクル率の向上が不可欠です。そのためには、ごみ、資源の分別の徹底を図り、さらなるリサイクル率の向上を目指します。また、区・区民・事業者が協力・連携し、レジ袋有料化等の方法により、区内で使用されているレジ袋を削減します。これらの課題解決に向けて、清掃情報誌の活用などを通じ普及啓発に努めるとともに、ごみの発生自体を抑えていくように区民・事業者と協働しながら、取り組んでまいります。
--------	---

(評価と課題) 二次評価 方向性	ごみの減量を進めるためには、ごみの発生抑制と分別の徹底、資源品目の拡大を含めたリサイクルの推進を戦略的に組み合わせることが重要です。今後は、ごみや資源のリサイクルに対する区民意識の徹底を図り、ごみの発生段階からの減量に努めることが、ごみを限りなくゼロにする社会の構築への近道となります。 また、マイバッグの持参について、店舗や事業者等との連携を図るとともに、区民の理解を求めていくことが欠かせません。
------------------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 17 】 【施策名： ごみの発生抑制及びリサイクルの推進】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点				成 果	効 果	見 直	
1	457 ごみ減量運動	26,222	0	9,127	5.40	0.20	48,506	74,728	0	○			
2	460 資源の回収	2,080,222	0	2,064,080	31.54	2.80	287,864	2,368,086	0	○			
3	462 リサイクル活動の支援	97,690	0	16,855	0.50	0.20	4,999	102,689	0	○			
4	464 レジ袋有料化推進	3,960	0	132	1.85	0.00	16,426	20,386	0	○	○		
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		2,208,095	0	2,090,194	39.29	3.20	357,795	2,565,890	0				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	18	施策名	環境配慮行動の推進				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために						
施策担当課	環境清掃部環境都市推進課						関係課							
施策の概要	対象	区民、区内事業者・団体、区・区職員等		目標	可能な限り化石燃料に頼らない「脱石油社会」をめざし、区民、事業者、行政が協働して、一人ひとりの環境意識を高め、再生可能エネルギーの利用や省エネ機器等の導入を図り、省エネや省資源、まちの緑化を推進し、エネルギー効率の良い地域社会づくりを行います。									
	成果目標	○平成25年度までに区内の太陽光発電普及率2%をめざします。(区の太陽光発電助成件数÷区内専用住宅数) ○区の二酸化炭素排出量を、平成25年度までに平成2年度比で2%削減します。 また、区役所の温室効果ガス排出量を、平成26年度に平成21年度比で10%削減します。												
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	国では、温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する国際公約を掲げるほか、省エネルギー法を改正するなど、地球環境保全のための環境政策に取り組んでいます。 また、東京都においても、環境確保条例を改正し、温室効果ガス排出総量の削減義務化などに取り組んでいます。													
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績		平成20年度				平成21年度				平成22年度		特記事項
				計画		実績		計画		実績		計画		
	事業費 ①	72,854		81,014		65,057		84,094		75,053		88,014		
	(内)投資的経費等 ②	0		0		0		0		0		0		
	(内)委託費 ③	40,078		31,296		29,563		33,711		32,291		31,274		
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	8.82	2.00	7.00	1.59	7.68	2.36	5.70	2.70	7.32	2.85	5.80	2.25	
	人件費 ⑤	86,155		67,802		76,112		58,154		72,956		57,782		
	総事業費 (①+⑤) ⑥	159,009		148,816		141,169		142,248		148,009		145,796		
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		1,000		1,000		5,250		5,130		6,500		
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	▲		▲		▲ 11.2		▲ 4.4		4.8		2.5		
人件費比率	54.2		45.6		53.9		40.9		49.3		39.6		前年度 総事業費 %	
施策活動分析Ⅱ	指標名	算式または指標の説明					単位	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	太陽光発電システム機器設置助成件数						件	74		72		133		

施策分析Ⅲ	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	太陽光発電普及率	杉並区助成設置件数／杉並区専用住宅件数	%	0.4	0.5	0.6	0.6	2.0	25

施策分析Ⅳ	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	○省エネ行動の推進
		大きな成果を上げている事務事業	○省エネ行動の推進 ○あんさんぶる荻窪の維持管理運営
		費用対効果の高い事務事業	○省エネ行動の推進
		見直すべき事務事業	○ISO14001等の推進
	新規事業	○省エネ行動の推進の「太陽エネルギー利用機器(ソーラーシステム及び太陽熱温水器)、高効率給湯器設置助成」を21年度から開始しました。	

施策の総合評価	指標の変化	活動指標の太陽光発電システム機器設置補助件数及び成果指標の太陽光発電普及率は、区民の自然エネルギーへの関心の高まりとともに、国、都の助成制度の開始や太陽光発電余剰電力買取価格の倍増策により、目標を達成しています。
	21年度の取組状況	自然エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムのほか、ソーラーシステム、太陽熱温水器の設置助成を開始しました。また、杉並区の二酸化炭素排出量の46%以上が家庭からの排出であり、そのうち20%以上を給湯からの排出が占めることから、家庭のエネルギー効率を高めるため、高効率給湯器の設置助成を開始しました。この他にも、省エネ情報を家庭や事業者へ提供するため、省エネ相談や出前講座を実施し、ホームページにも区民が実際に取り組んだ省エネの具体例などを掲載しています。
	政策への貢献度	脱石油社会をめざす取り組みに、自然エネルギーや省エネルギー機器の普及、環境学習講座や省エネ相談などによる環境配慮行動の推進は大きな役割を果たしています。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施策のあり方	<p>太陽光発電機器設置助成については、引き続き、国や東京都の動向等を踏まえ、一層の自然エネルギーの普及促進に取り組んでいきます。</p> <p>併せて、家庭における省エネを推進し、エネルギー効率が良く、質の高い暮らしの実現に向けて、意識の啓発や情報発信など、必要な取組みを進めていきます。</p>
--------	---

(評価と課題) 二次評価	<p>太陽光発電に対する国や都の動向及び区民ニーズなどを踏まえつつ、地球環境の保全の観点から、区内の自然エネルギー利用を一層促進させることが重要なことと考えます。今後、区民、事業者への省エネ情報の提供をさらに進め、意識啓発やライフスタイルの見直しを行い、地域のエネルギー効率を高めていくことが課題です。</p>
-----------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 18 】 【施策名： 環境配慮行動の推進 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点				成 果	効 果	見 直	
1	446 環境博覧会の開催	9,959	0	279	2.10	0.00	18,646	28,605	1,500				
2	447 省エネ行動の推進	30,691	0	1,993	2.10	1.00	21,439	52,130	3,630	○	○	○	
3	448 環境配慮行動の推進	655	0	403	0.14	0.20	1,802	2,457	0				
4	451 ISO14001等の推進	1,909	0	1,363	2.38	0.65	22,947	24,856	0				○
5	455 自然環境の保全	5,644	0	5,444	0.30	0.50	4,061	9,705	0				
6	470 あんさんぶる荻窪の維持運営経費	26,195	0	22,808	0.30	0.50	4,061	30,256	0	○			
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		75,053	0	32,291	7.32	2.85	72,956	148,009	5,130				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	19	施策名	公害の防止				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために							
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課									
施策の概要	施策の対象	区民、工場等の事業者、大気汚染状況、道路交通騒音・振動の状況など	目標	大気汚染や自動車交通騒音、工場などの事業場から発生する騒音・悪臭などの公害の防止を図ることにより、区民の生命、健康、財産を守る。											
	成果目標	受け付けた公害の苦情・相談については、速やかに対応し、苦情・相談完結率を90%以上とします。													
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<p>大規模工場の閉鎖や郊外への移転に加え、中小の工場も廃業が進んでおり、事業系の公害は減少しています。一方、マンション開発等、ビル建替えに伴う騒音、振動などの公害が増加しています。さらに、近隣騒音等、生活公害への対応を行政に求める相談も多くなっています。</p> <p>大気汚染については、法律によりディーゼル車の排気ガス規制が強化されるとともに、首都圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)では、ディーゼル車の走行規制が行われています。この結果、区内3地点における浮遊粒子状物質の濃度はわずかずつですが減少傾向が見られます。</p> <p>そのほか、近隣騒音等に苦しむ区民や道路近くに居住する区民から、騒音や大気汚染の測定を求める声が多くなっています。</p>														
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度実績		平成20年度計画		平成20年度実績		平成21年度計画		平成21年度実績		平成22年度計画		特記事項	
	事業費 ①	45,582		52,173		40,539		37,445		28,170		26,191			
	(内)投資的経費等 ②	967		547		479		4,958		2,063		0			
	(内)委託費 ③	41,221		45,950		37,718		27,945		22,760		23,597			
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	9.00	1.00	8.00	1.00	8.10	1.00	8.00	1.00	8.05	1.00	7.00	2.00		
	人件費 ⑤	85,030		75,200		76,106		73,825		75,269		67,739			
	総事業費 (①+⑤) ⑥	130,612		127,373		116,645		111,270		103,439		93,930			
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		0		0		0		0		0			
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)					▲ 10.7		▲ 12.6		▲ 11.3		▲ 15.6			当該年度 総事業費
	人件費比率	65.1		59.0		65.2		66.3		72.8		72.1			前年度 総事業費 %
	人件費/総事業費(単位%)														
施策分析Ⅱ・活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度						
	環境実態調査の分野数	大気、水質、土壌、杉並中継所のうち、杉並中継所廃止に伴い20年度末で調査を終了した。				分野	4	4	3						
	延べ調査地点数					地点	200	183	136						
	立入調査、指導					件	1,117	741	622						
	公害苦情相談受付件数					件	274	248	245						

施策成果分析Ⅲ	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	区内環境への適正管理化学物質排出量	実績値は翌年度末に確定	kg	11,111	8,870	11,000	-	8,500	22
	苦情・相談完結率(%)	$(\text{苦情・相談完結件数}) \div (\text{苦情・相談件数}) \times 100$	%	85.0	75.0	90.0	71.0	90.0	22

施策事務事業の構成の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	公害等防止、大気や河川水質などの環境実態調査
	大きな成果を上げている事務事業	
	費用対効果の高い事務事業	
	見直すべき事務事業	
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	適正管理化学物質の区内環境への排出がしだいに減少しています。景気の影響もありますが、代替物質への転換や事業所内での排出防止措置や適正管理等の成果と考えられます。また、苦情・相談完結率は前年度を若干下回りました。環境測定調査結果の区民等への情報提供については予定どおり速やかに行うことが出来ました。
	21年度の取組状況	区内の大気汚染や交通騒音、河川水質などの環境測定結果については、区民への情報提供とともに、調査結果を踏まえ必要な対策を講じてきました。加えて、近隣騒音等に関する対策についても当事者間での紛争解決に向けて積極的に調整を行い、多くの事例において解決に導きました。
	政策への貢献度	大気汚染や自動車交通騒音は、依然、深刻な状況であり、これらの公害を改善していくための基礎的資料を得るため、測定調査を実施し、その結果を区民ならびに道路管理者など実際の公害対策所管部署へ情報提供しています。また、区には、騒音や振動、悪臭等の苦情・相談が寄せられていますが、これらの問題についても行政が加害者と被害者の間に入って協議や調整を行っています。これらを通じ、区民の健康や生活環境を守っていくことによって、環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちの実現に貢献しています。

今後の施策の方向	○ 拡充 ○ サービス増 ● 現状維持 ○ 効率化 ○ 縮小 ○ 統廃合
----------	---

施策のあり方	公害への苦情件数については、減少傾向にありますが、行政が加害者と被害者の間に入る機会は逆に多くなっています。粘り強い協議や調整によって解決に至った事例も多くあり、これらについては、事後のフォローアップを徹底してまいります。事業活動に伴う化学物質などの排出については、規制や監視の手法に加え、使用量の報告を求めることなどによって抑制していきます。大気汚染や自動車交通騒音等の基礎的資料の収集及び区民等への情報提供を行うとともに、調査結果を対策に結びつける努力を行ってまい
--------	--

二次評価 (評価と課題・方向性)	大気汚染、騒音、臭気などの公害問題は、一般的に区民だけでは解決が難しく、行政が関与することにより、区民の生活環境を守っていくべき課題です。 こうした中で、区へ寄せられる苦情件数は、減少傾向にありますが、今後とも事案に応じて可能な限り迅速な対応に努めます。併せて、区だけでは解決が困難な問題については、必要な環境調査などを踏まえ、国や東京都とも協力・連携し、区民の快適な生活空間の確保に努めていきます。
---------------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 19 】 【施策名： 公害の防止 】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	相対性			
		(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤	重点				成果	効果	見直	
1	453 公害等防止	4,536	0	3,376	4.65	1.00	44,080	48,616	0	○			
2	454 大気や河川水質などの環境実態調査	23,634	2,063	19,384	3.40	0.00	30,189	53,823	0	○			
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		28,170	2,063	22,760	8.05	1.00	74,269	102,439	0				

平成22年度 杉並区施策評価表 I

施策番号	20	施策名	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために										
施策担当課	環境清掃部清掃管理課				関係課	杉並清掃事務所										
施策の概要	対象	個人・世帯・事業者	目標	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物の適正な分別、収集、運搬、保管、再生、処分等の処理をするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。												
	成果目標	20年度から廃プラスチックサーマルリサイクルを開始し、同時にプラスチック製容器包装、ペットボトルについて区内全域で収集を実施しました。その結果、区民1人あたりのごみ量は大幅に減量し、リサイクル率は4ポイント上昇しました。今後も、ごみの適切な分別収集のために、区民への周知を進めていきます。また、さらなる収集サービスの向上を図るため、区の財政状況をふまえ、戸別収集のモデル実施にむけて調査検討をさらに進めます。														
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場の延命(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の利用期限が50年程度と見込まれている) ・循環型社会実現の社会的要請と関連法案の整備の進展 ・杉並中継所を不要とするための、分別・リサイクル率の向上と不燃ごみの減量の必要性の具体化計画であるごみ半減プランの策定 ・東・西清掃事務所の組織の統合化(平成16年4月組織改正) ・車庫係(高円寺・高井戸)の完全統合(平成17年4月) ・廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施 ・ごみを限りなくゼロを目指す杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定(20年3月) ・杉並中継所の廃止(平成21年3月) 															
施策分析Ⅰ・施策コスト (単位千円)	区分	平成19年度 実績		平成20年度 計画		平成20年度 実績		平成21年度 計画		平成21年度 実績		平成22年度 計画		特記事項		
	事業費 ①	4,496,068		4,575,049		4,325,225		4,237,684		4,019,320		3,601,788				
	(内)投資的経費等 ②	0		0		0		0		0		0				
	(内)委託費 ③	274,313		1,651,496		1,537,040		1,317,620		1,177,964		1,285,722				
	職員数(人) (常勤 非常勤) ④	277.50	26.00	258.82	22.00	271.09	21.70	243.87	23.90	257.60	23.50	236.14	25.50			
	人件費 ⑤	2,608,370		2,403,922		2,514,126		2,232,076		2,352,867		2,167,908				
	総事業費 (①+⑤) ⑥	7,104,438		6,978,971		6,839,351		6,469,760		6,372,187		5,769,696				
	(財源)国・都からの補助金等 ⑦	0		4,019		2,089		0		0		0				
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	▲		▲		▲ 3.7		▲ 7.3		▲ 6.8		▲ 10.8		当該年度 総事業費	前年度 総事業費	%
	人件費比率	36.7		34.4		36.8		34.5		36.9		37.6		人件費/総事業費(単位%)		
施策分析Ⅱ 活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度							
	可燃・不燃・粗大ごみ量					t	120,598	110,927	100,313							
	ごみ量減量率	削減率(対前年度比)				%	4	8	2							
	資源化率	ごみ量の中の資源の率				%	22	26	27							
							0	0	0							

施策分析Ⅲ・成果指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標	平成21年度実績	目標値	目標年度
	区民1人あたりのごみ処理年間費用		円	15,691	16,811	16,759	15,783		
	モデル地区の区推奨「黄色いごみ袋」普及率		%	13.0	10.9	17.0	11.9	20.0	22

施策を構成の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	一般廃棄物処理管理事務							
	大きな成果を上げている事務事業	ごみ・し尿の収集・運搬 清掃一部事務組合分担金等 所方南支所の安全管理 ごみ・し尿の中継業務 杉並清掃事務所の安全管理 ごみ・資源の排出の適正管理 杉並清掃事務							
	費用対効果の高い事務事業								
	見直すべき事務事業	杉並清掃事務所の維持管理 杉並清掃事務所方南支所の維持管理							
新規事業									

施策の総合評価	指標の変化	区民1人あたりのごみ処理年間費用については、20年度はサーマルリサイクルの実施と、プラスチック製容器包装収集やペットボトルの区内全域での集積所回収に伴い事業の拡大による資源物の処理費用を含めたコストは一時的に増加しました。しかし21年度は杉並中継所の廃止に伴い、経費が削減となりました。
	21年度の取組状況	ごみ量は、ごみの分別の徹底と、資源化の推進により、年々減少の一途をたどっています。平成20年度は、サーマルリサイクルの実施に合わせ、プラスチック製容器包装やペットボトルを「資源」として収集したことが、減量の大きな要因となっています。平成21年度は、更なる収集サービスの向上を目指して、戸別収集の導入に向けた検討を進めましたが、収集コスト増などの課題についてさらに検討が必要となっています。
	政策への貢献度	区民と事業者の協力を得て、ごみの減量とリサイクルの向上を進めることで、杉並中継所を廃止するなど、循環型社会づくりの実現に大きく貢献しました。

今後の施策の方向	○ 拡充	● サービス増	○ 現状維持	○ 効率化	○ 縮小	○ 統廃合
----------	------	---------	--------	-------	------	-------

施策のあり方	区は、ごみ・資源の分別の徹底を図るとともに、資源物回収品目の拡大を図りながら、ごみの減量・適正処理を進めていく必要があります。今後、きめ細かな収集サービスの向上を図る一環として、戸別収集の導入に向けた検討を進めるとともに、ごみ減量・資源化の推進に向けた家庭ごみの有料化もあわせて検討を進めます。
--------	---

(評価と課題・方向性) 二次評価	ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底を図ることが重要です。区は、資源の回収品目の拡充や集積所回収の実施に伴い、区民サービスの向上を図ってきました。今後は、更なる区民サービスの向上と、戸別収集や家庭ごみの有料化など、ごみの減量化を進めるための方策について、一層の検討を進めていきます。
------------------	---

平成22年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号： 20 】 【施策名： ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上】

※金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	21年度事業費			職員数		人件費 (非常勤含)	総事業費	(財源) 国・都からの補助金等	相対性			
		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤	重点				成果	効果	見直	
1	456 一般廃棄物処理管理事務	8,437	0	3,838	5.52	1.40	52,922	61,359	0	○			
2	458 ごみ・し尿の収集・運搬	977,767	0	948,172	175.04	19.00	1,607,247	2,585,014	0	○			
3	459 ごみ・し尿運搬の中継業務	176,748	0	147,904	1.51	0.00	13,407	190,155	0	○			
4	461 ごみ・資源の排出の適正管理	76,904	0	17,179	32.61	0.00	289,544	366,448	0	○			
5	463 清掃一部事務組合分担金等	2,609,591	0	0	0.90	0.10	8,270	2,617,861	0	○			
6	465 杉並清掃事務所の維持管理	54,324	0	24,047	3.16	1.50	32,248	86,572	0				○
7	466 杉並清掃事務所の安全管理	6,232	0	1,616	1.20	0.50	12,052	18,284	0	○			
8	467 杉並清掃事務所方南支所の維持管理	78,105	0	33,743	2.98	0.50	27,856	105,961	0				○
9	468 杉並清掃事務所方南支所の安全管理	5,749	0	1,433	0.68	0.50	7,435	13,184	0	○			
10	469 清掃車の運行及び維持管理	25,463	0	33	34.00	0.00	301,886	327,349	0				○
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
合計		4,019,320	0	1,177,964	257.60	23.50	2,352,867	6,372,187	0				